

仙台市立病院医学雑誌投稿規程

平成 28 年 3 月 1 日
病院事業管理者決裁

1 掲載論文

投稿論文は医学，診療に関する内容のもので，他誌に未発表のものに限り，綜説，原著，症例報告，コメディカルレポート，その他（短報，症例検討会リスト，癌登録関係，業績報告，CPC 一覧，剖検記録等）とする。

なお，その内容はヘルシンキ宣言（人間を対象とする医学研究の倫理的原則）及び仙台市立病院「臨床における倫理に関する方針」を遵守するものとする。

2 個人情報保護

個人に関する情報の取扱いにあたっては個人情報保護法等の個人情報保護に関する法令等を遵守するものとする。特に，症例報告や臨床研究においては被験者のプライバシー保護の面から個人が特定されないよう，氏名，生年月日はもとより実施日などの月日を明記せずに臨床経過がわかるよう記述して投稿するものとする。

3 投稿資格

仙台市立病院職員及び登録医とする。ただし，編集委員会が認めた者についてはその限りではない。

4 原稿作成方法

(1) 原稿作成には，Microsoft Word を用い，平仮名，常用漢字，現代仮名遣いを用いるものとする。ただし，固有名詞や一般に用いられている学術用語はこの限りではない。また，論文の長さは，図（写真），表を除き原稿用紙 20 枚以内を原則とするが，綜説については 30 枚以内とする。なお，原稿に頁を記入すること。

(2) 図及び線画の解像度は 600 dpi 以上，写真の解像度は 300 dpi 以上とし，JPEG（推奨），TIFF，PDF，Microsoft PowerPoint，Microsoft Excel，Microsoft Word のデータファイルとする。また，図及び表は，各々に図 1，表 1 などのようにそれぞれ番号をつけ，各々のタイトルと簡潔な説明文を附記するものとする。なお，他書から引用する場合には必ず出典を明らかにするものとする。

光顕写真（組織像，細胞像）の倍率は原則として不要とするが，電顕写真については撮影時の倍率を表示するか，あるいは写真にスケールをつける。写真は図に含めるが，図表はそれぞれ別紙を用いるものとし，本文中には図及び表の挿入すべき位置を明記する。

(3) 利益相反自己申告書を，本規程内のファイル（様式 1）を用いて作成し，原稿と合わせて提出するものとする。

(4) 論文原稿は，以下の順で項目ごとに改頁を行い作成するものとする。

① 論文種別（綜説，原著，症例報告，コメディカルレポート，その他），題名，所属，著者名（姓名間にスペース）。

なお，和文索引用語は 3 語以内とする。

② 和文要旨を作成するものとする（400 字以内）。

- ③ 本文は、「はじめに」又は「緒言」、対象と方法（症例と方法）、結果（成績）、考察、謝辞の形式とする。
- ④ 度量衡は、国際単位系（SI）を用いるものとする。
- ⑤ 外国人名、適当な和名のない薬品名、器具および器械名、疾患名、学術的表現、科学用語などについては原語を用いて良いものとする。ただし、固有名詞及び外国語名詞の頭文字は大文字とする。また、文中の外国人名、化学薬品名（薬品名は一般名を用いる）は原語とするが、慣用（例：バセドウ病、ビタミン、ホルモン）のものはカタカナを使用して良いものとする。
- ⑥ 医学用語の略語を用いる場合は、はじめに完全な用語を書き、それ以降は略語を用いることを明記する。
- ⑦ 引用文献は、主要なものに限定し、引用順に並べるものとする。
なお、文献表記はバンクーバ方式、誌名略記は医学中央雑誌収載誌略名表及び Index Medicus に準拠するものとする。また、文献は、引用箇所の上につぎ番号を付し、参照文献の頁に引用順に記載するものとし、連続する3個以上を引用する場合 1, 2, 3) と記載せず、1~3) のように表記するものとする。
- ⑧ 雑誌から引用する場合は、著者（筆頭者のみ記載し、それ以上の場合は…他、…et al. とする）、表題、雑誌名（医学中央雑誌、Index Medicus に従うこと）、巻：頁-頁、年号の順に記載するものとする。
例) 田中一郎 他：胃癌の病理。日病会誌 **89**：121-135, 2000
例) Meinhof W et al. : Attempts to detect virus-specific DNA in human tumors : Nucleic acid hybridizations with complementary RNA of human wart virus. Int J Cancer **13** : 650-656, 1974
- ⑨ 書籍から引用する場合は、著者、表題、書名（編集者又は著書名）、出版社名、出版地名、引用頁数、発行年（西暦）の順に記載するものとする。
例) 坂本吾偉：良性上皮性腫瘍。乳腺腫瘍病理アトラス（坂元吾偉著）、篠原出版、東京、pp 9-19, 1987
例) McDivitt RW et al. : Tumor of the Breast. Atlas of Tumor Pathology (McDivitt RW ed.), MTP Press, New York, pp 103-128, 1989
- ⑩ インターネットから引用する場合は、著者名：Web ページの題名、Web サイトの名称 URL（アドレス）、引用年月日の順に記載するものとする。
例) 国立がん研究センターがん対策情報センター：がん情報サービス統計
<http://ganjoho.jp/professional/statistics/index.html>
平成 23 年 11 月 5 日参照
例) NCCN clinical Practice Guidelines in Oncology : Thyroid Carcinoma Version 3.2011
http://www.nccn.org/professionals/physician_gls/pdf/thyroid.pdf Accessed 2011 Nov
- (5) 図の説明文を記載するものとする。

5 原稿投稿方法

論文の投稿は電子媒体（電子メールの添付ファイル、CD-R、DVD-R、USB メモリー、SD カードなど）および印刷体によって行うことを原則とする。

6 論文の審査

投稿論文は、編集委員及び査読委員 2 名以上で査読し、委員会での審査により採否を決定する。

7 校正

投稿論文の初校は、著者が原稿の控えを用いて行うものとし、二校以降は著者校に基づいて、事務局が行うものとする。

8 掲載方法

論文は、PDF 化し、オンラインジャーナルのみに掲載するものとし、論文別冊の配布は行わないものとする。